

一般名処方に関するヒヤリ・ハット

～一般名の名称類似が取違えの要因として考えられる組み合わせ～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「一般名処方」に関する事例が 229 件報告されています。（集計期間：2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日）異なる成分の一般名の医薬品を取違えた調剤の事例のうち、一般名の名称類似が取違えの要因として考えられる組み合わせを以下に示します。

一般名	主な薬効	一般名	主な薬効
【般】アロチノロール塩酸塩錠 5 mg（ハイリスク薬）	不整脈用剤	【般】アロプリノール錠 100mg	痛風治療剤
【般】一硝酸イソソルビド錠 20mg	血管拡張剤	【般】硝酸イソソルビド徐放錠 20mg	血管拡張剤
【般】アトルバスタチン錠 10mg ☑	高脂血症用剤	【般】プラバスタチン Na 錠 10mg	高脂血症用剤
【般】ラニチジン錠 75mg	消化性潰瘍用剤	【般】ニザチジン錠 75mg	消化性潰瘍用剤
【般】ラベプラゾール Na 錠 10mg	消化性潰瘍用剤	【般】ランソプラゾール口腔内崩壊錠 15mg	消化性潰瘍用剤
【般】クロベタゾン酪酸エステル軟膏 0.05 %	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	【般】クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05 %	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
【般】ジフルプレドナート軟膏 0.05 %	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	【般】ジフルコルトロン吉草酸エステル軟膏 0.1 %	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
【般】亜鉛華単軟膏 20 %	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	【般】亜鉛華軟膏	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
【般】ケトプロフェンテープ 40mg（10 × 14cm 非温感）	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	【般】フルルビプロフェンパップ 40mg（10 × 14cm）	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
【般】ケトプロフェンテープ 40mg（10 × 14cm 非温感）	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤	【般】フルルビプロフェンテープ 40mg（10 × 14cm 非温感）	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
【般】エバスチン錠 10mg	その他のアレルギー用薬	【般】エピナスチン塩酸塩錠 10mg	その他のアレルギー用薬
【般】セフジニル細粒 10 %	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフジトレンピボキシル細粒 10 %	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフジトレンピボキシル細粒 10 %	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフカペンピボキシル塩酸塩細粒 10 %	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフジトレンピボキシル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフボドキシムプロキセチル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフジトレンピボキシル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフジニルカプセル 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフジニルカプセル 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフジトレンピボキシル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 292図表6－12を改変、主な薬効の組み合わせ別に色を分けて示した。